

カトリックさゆり幼稚園教育方針・教育内容について

◆幼稚園のあゆみ◆

1839年、南フランスのキジャンの地で、神から、貧しい子女の教育の使命とカトリック教会への奉仕の強い望みを受けたオルミエール師とパスクアル修道女によって守護の天使の姉妹修道会が創立されました。昭和31年1月、4人のスペイン修道女たちが、マドリッドの総本部より派遣されて、はじめて日本に宣教の根をおろし、山口県宇部市の宇部さゆり幼稚園の運営を始めました。昭和40年4月千里ニュータウンに学校法人サント・アンゼロ学院カトリックさゆり幼稚園を開設し、今日に至ります。守護の天使の姉妹修道会は、地上における天使のように、神の意志を、すばやく果し、私達に託された小さな弱い者すべてに、目に見える天使となるよう宣教・教育につとめてきました。

◆カトリック幼稚園とは…◆ キリスト教（カトリック）の愛の精神に基づく人間教育

神様は私たちを愛され「命」をくださいました。そして、子どもたちは愛されて生まれてきたかけがえのない存在で、神様から託された大切な宝物です。「あなたのままでいい!」と一人ひとりの存在を認め合う温かい環境の中で、子どもたちの幸せな笑顔のためにカトリックの愛の精神で、子どもたちのありのままの姿をしっかりと受け止めて、お互いに認め合い、受け入れられることで、神の愛・喜びを感じる人間教育を目的とします。

◆カトリックさゆり幼稚園の特色◆

- 設立母体であるカトリック守護の天使の姉妹修道会の教育方針に沿って、幼稚園と家庭が一体となって幼児の基本的な生活習慣と人間形成の基礎づくりを温かい宗教的雰囲気の中で育成することを目的としています。
- 神様からも親や友だちからも愛されている大切な存在であるということを様々な場面で子供たちに伝え、イエス様の教え通り、友達を思いやり仲良く過ごします。
- 子どもたちにとって初めての集団生活の場である幼稚園は家庭の次に安心できる場所であるよう温かい雰囲気づくりを心がけます。
- 教育理念の基本である、『素直な心』『思いやりの心』『頑張る心』を大切にして、日々の保育を行っております。
- 神様が私たちを愛してくださっていることを知り、日々の保育を通して、「祈る心」「感謝の心」を育てます。

「思いやり…」

「素直な心…」

「頑張る心…」

「祈る心…」

「感謝の心…」



◆カトリックさゆり幼稚園の教育目標◆

- ・幼稚園生活を楽しみ、様々な活動に興味や関心を持ち、積極的に取り組もうとする。
- ・基本的な生活習慣を身につけ、一人ひとりの個性を伸ばし、自分で行動できるようにする。
- ・神様に見守られ、周りの人たちから愛されている安心感に包まれて毎日過ごす中で、素直な心を育む。
- ・友達との関わりの中で、相手を思いやり、相手の立場になって考える力を身につけ、人に対する温かい気持ちや共感する気持ちを育てる。
- ・友達や保育者と関わる中で、愛情や信頼感を持ち、一緒に遊ぶことを楽しむ。
- ・様々な活動の中で、失敗してもあきらめずに挑戦し、最後まで頑張る力を育てる。
- ・小さな生き物との触れ合いや日々のお祈り、神様のお話を通して、宗教的情操を養う。
- ・神様から頂いているたくさんのお恵みを知り、感謝の心を育てる。
- ・良心を大切にして、良いことと悪いことの正しい判断力を培う。
- ・将来どんな試練にも立ち向かい、乗り越えていく「生きる力」を養う。

子どもは一人ひとり大きな能力を持ってこの世に生まれました。愛されて育った子どもは、自己を肯定し、他者を愛し、尊重します。そして、一人ひとりの子どもたちが愛され、「あなたが大好き」「あなたはとても大切な人」と感じられるように、そして、世界中でたった一人しかいない自分に気づき、個性豊かに自信をもって生きていくことができるように、私たち全教職員は心からの愛情を一人ひとりに注ぎます。

カトリック園へようこそ!

幼児期は、一生涯を支える力を育むときです。子どもたちの心は、祈り・好奇心・希望・愛情にあふれた宝石箱ですが、同時に傷つきやすく、ときに自己中心に傾きやすいことも事実です。

キリスト教に根差したカトリック園では、子どもたち一人ひとりを大切に、そのいのちと心の輝きが育つ環境を整えることに努めます。

神さまとの、自然との、そして多くの友達や先生の出会いをとおして、子どもたちが自信と、共に生きる喜びを見出すことができればと願っています。

子どもたち一人ひとりの幸せのために、共に力を合わせてまいりましょう。

カトリック園が大切にしていること・・・

◆一人ひとりを大切にする

子どもは、神さまからそれぞれの家庭に託された宝物です。子ども一人ひとりのいのちとありのままの個性を私たちもしっかり受けとめ、ご家族の皆さんといっしょに大切に育てていきます。

◆思いやりのある心を育てる

園の集団生活では、自分のことだけでなく、友達を思いやり、助け合うことを学びます。けんかもするけれど仲直りをして、いっしょに喜んだり、泣いている友達に寄り添ったり。つながりの中で生きる力が養われます。

◆祈る心

大自然を養い、私たちを守ってくださる神さまのことを、子どもは身近に感じています。日々の「あたりまえ」のすばらしさに気づき、支えてくださる人たちや神さまに感謝する心を、日々の祈りをとおして育みます。

Q.カトリック園は他の園と何が違うの？

A. カトリック園ならではの行事等があります。

クリスマスの劇やマリア祭など様々なキリスト教の行事があり、毎日のお祈りや心を育てる神さまのお話もあります。イエスさまとマリアさまを大切に、ご像を置いています。

Q.うちはキリスト教ではないけれど大丈夫？

A. 大丈夫です。

クリスチャンでなくても入園できます。キリスト教の祈りや行事を大切にしている園ですので、それを受け入れて頂ければ大丈夫です。(入信を強要することはありません)

Q.どうしてお祈りを教えるの？

A. 感謝の気持ちや生きる希望を大切にするためです。

祈りをとおして、日々たくさんの恵みによって生かされていることを感謝し、悲しむ人に寄り添い、どんな時も神さまがいっしょだから大丈夫!という生きる希望を養います。

Q.七夕・七五三・節分などの日本の伝統行事はするの？

A. 日本の文化を大切にします。

カトリックは、それぞれの国の文化を大切にします。伝統行事をとおして、神さまに四季の豊かな恵みを感謝し子どもの成長を願う機会としています。

